

■エジプト：規制当局、国内初の原子力発電所エル・ダバのサイト許可発給

エジプトの原子力発電庁（NPPA）は2019年4月10日、同国北部の地中海に面したエル・ダバでの4基の原子力発電ユニット建設に対し、同年3月上旬にエジプト原子力規制・放射線当局（ENRRA）からサイト許可を受領したと発表した。同許可はNPPAが2017年に提出した申請書に対して、ENRRAが詳細包括レビューを実施した結果、発給された。また、同国政府は2018年1月、ENRRAによるレビューを支援するため、国際原子力機関（IAEA）に「立地評価・安全設計レビュー（SEED）」を依頼し、安全性に関わるサイト特性、地震・津波や人為的な災害に対し、特別な注意を払ったとしている。NPPAによると、ライセンスプロセスにおけるその他すべての許認可は、ユニットごとに発給される。エル・ダバでは、ロシア設計のVVER-1200が4基建設され、初号機は2026年に運開予定であり、NPPAが所有運営する。